

令和6年11月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和6年11月8日（金）午後2時00分～2時30分
場所 防災庁舎5階 災害対策本部室
出席 市政記者クラブ12社14名

会見内容

1. 話題提供（3項目）

1 「釧路市民憲章制定60周年記念式典」の開催について

- はじめに「釧路市民憲章制定60周年記念式典」の開催についてです。
- 釧路市民憲章が今年（令和6年）5月に制定60周年を迎えましたことから、11月30日（土曜日）に釧路市民憲章制定60周年記念式典を開催いたします。
- 釧路市民憲章は1964年（昭和39年）5月に制定され、2005年（平成17年）の阿寒町・音別町との合併に伴い、豊かで明るいまちを築くための指標・行動規範として受け継がれ、2006年（平成18年）の合併1周年記念式において制定しております。
- 本式典では、お配りの資料のとおり、今年度の重点市民憲章である「文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう」に基づき、釧路市出身フォトジャーナリスト長倉洋海氏をお招きし、「地球に謳う～出会いと平和を求めて～」と題した記念講演をいただき他、ステージ発表では釧路聴力障害者協会蝦夷太鼓の演奏やヒートボイス、キッズロケット、ひぶな幼稚園による釧路市民憲章のオリジナルソングを披露していただきます。
- 今回の記念式典を通じて、まちづくりの根幹ともいえる市民憲章を市民の皆さまに再認識していただくことで、次世代につなぐまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますことから、本式典には多くの市民の方にご参加いただきたいと思いますので、報道のみなさまよろしくお願いたします。

2 オーストラリア姉妹湿地訪問について

- 2点目は、「オーストラリア姉妹湿地訪問について」です。
- 11月13日（水曜日）から19日（火曜日）まで、7日間の日程でオーストラリアの姉妹湿地を訪問します。
- 平成6（1994）年に釧路湿原とオーストラリア ニューサウスウェールズ州のハンター河口湿地は、姉妹湿地提携を結んでおり、今年は、湿地提携から30周年の記念の年となることから現地を訪問し、姉妹湿地を有するニューカッスル市のロス・ケリッジ市長及びポートスティーブンス市のリー・アンダーソン市長とともに、提携書の更新を行います。
- 釧路市からの訪問団は、釧路国際ウェットランドセンターの理事長でもあります私のほか、専門家と随行者2名の計4名。市民訪問団といたしましては、畑中市議会議長ほか、オーストラリアと市民交流活動が続けているLAC（ラブリー・オーストラリア・クラブ）から3名、合計で8名が渡豪します。
- 現地では、記念式典に参加する予定となっておりますほか、湿地関係者との今後の活動協議による技術者間の交流、ニューカッスル市内の環境施設の視察などが予定されています。また、LACの3名については、ホームステイによる交流を行う予定となっています。
- 今回の訪問を機に、ますますの住民交流や技術交流が促進されることを期待しているところです。

3 観光交流都市・岡山市への友好親善交流訪問団の派遣について

- 3点目は、岡山市への友好親善交流訪問団の派遣についてです。
- 今回は、私をはじめとする公式訪問団8名および市民訪問団16名を岡山市に派遣することを決定しました。
- 公式訪問団の日程につきましては、11月11日（月曜日）から11月12日（火曜日）までの1泊2日となっており、岡山市への表敬訪問を行った後、岡山城天守閣で開かれませず歓迎レセプションなどの公式行事を予定しております。
- 市民訪問団の日程につきましては11月11日（月曜日）から11月14日（木曜日）までの3泊4日となっており、歓迎レセプションへ参加した後、岡山市内観光、広島・呉観光などを予定しています。
- 出発当日は、8時30分より釧路空港2階団体待合室にて出発式を執り行う予定となっておりますのでよろしくお願いいたします。
- このような交流を継続することで岡山市と釧路市、相互の理解を深めるとともに両市の友好関係を一層発展させていきたいと考えております。

2. 質疑要旨

（質問）

- ・ オーストラリア姉妹湿地訪問について、環境施設の視察とあるが、具体的にどのような施設をどのような目的で行かれるのかお聞かせください。

（市民環境部長）

- ・ 環境施設としては、ハンターウェットランドセンターを訪問します。ハンター湿地の一角をなすクーラガング湿地に面した施設で、子供から大人まで楽しめる、さまざまな環境教育・ツアープログラムを提供しており、自然情報展示施設、湿地来訪者の休憩施設などがある湿地保全の拠点施設です。

また、隣接する施設として、学齢期の全ての児童生徒に向けた特別研修講座を実施している湿地教育施設を訪問し、現地の取り組みについて、解説いただく予定です。

（質問）

- ・ 廃墟ビル問題とまちの再開発について、釧路市内には駅前をはじめとする各所に多くの廃墟ビルがあり、市民の方々からは「街のイメージを暗くしている」「発展を妨げている」との声も聞かれます。今後、市長はこのような廃墟ビル問題に対してどのように取り組む予定でしょうか。また、釧路市の発展のために街の再開発をどのように進めていくお考えでしょうか。現在、釧路市で進行中の再開発計画などがあればお教えてください。

（市長）

- ・ 駅前から幣舞橋周辺までの中心部に約20棟の空きビルがあり、そのうち、特定空家等は3棟あると認識しています。その中で、壊せる可能性が高いものや所有者と連絡が取りづらくなっているものがあり、これから精査していく作業に入っていきたいと思っています。公費を投入するとしてもお金がかかってきますので、予算との兼ね合いも出てきます。これから庁内で話し合いをしながら進めていきたいと考えています。

現状では、景観が悪くなっていることで地価が上がりづらくなっており、そういったビルを壊すことで遊休地が利用できるようになると考えています。そういったことで中心市街地を活性化させていく手法を探っていきたいと考えています。

（質問）

- ・ 国立公園である釧路湿原への大規模なソーラーパネルの設置に関して、「貴重な動植物の生

息地が奪われる」「美しい景観が失われる」といった市民の不安や反対の声が少なからず聞かれます。市長としては、国立公園をはじめ釧路市内でのソーラーパネル設置に関して、どのような方向性で進めていくおつもりでしょうか。規制などは設けるお考えでしょうか。(市長)

- ・出来る限りの手法を使って防いでいきたいと思っています。湿原は市民の宝であり、釧路の誇りだからです。就任のあいさつで述べさせていただいたとおり、太陽光パネルの設置を防いでいき湿原を守るために、最善の条例を最速のスピードで作っていきたいと考えております。今段階ではこのような状況ですが、担当課と相談しながら出来る限りのことを行っていきたいと思います。また、臨時議会等も活用しながら提案の機会を増やし、スピードアップを図っていきたいと考えています。

(質問)

- ・前市長が進めてきた条例を環境審議会に諮っていると思いますが、そのどこに問題があったと捉えているのか教えてください。

(市長)

- ・みなさんも見てわかっていると思いますが、市街化調整区域にどんどん建っています。我々が見た感じではそこは正直なところ湿原です。キタサンショウウオなどが住む環境を守っていきたいと考えています。条例に盛り込む内容は現在検討中です。こういった形がいいのか細かくゾーン分けしていきたいと考えています。市街化調整区域は旧釧路市内にしかありませんので、阿寒や音別も視野に入れて区域分けをし、しっかり防いでいきたいと考えています。

(質問)

- ・前市長の話では、市街化調整区域に規制をかけることはハードルが高いということもあり、条例を作るにあたり、広く湿原の環境を守る中でソーラーパネルを規制する手法を取っていたと感じています。そういった手法ではなく、もっと直接的な手法を目指すという考えでよろしいでしょうか。

(市長)

- ・中身的には全く違うものになると思っています。本州の事例も参考になりますし、近隣では鶴居村が参考になると考えています。我々が自然を大切にしようとして条例で盛り込んだとしても、今建設を進めている企業の中には外国資本の投資家も含まれています。これを防ぐには理念だけでは難しい状況になっておりますので、具体的なみなさんのアイデアが必要になってきます。お知恵をお貸しいただきたいと思っています。

(質問)

- ・就任時に2月までという目途を示されていましたが、そこに向けたスケジュールとして、近々に行っていくことを教えてください。

(市長)

- ・今現在、庁内担当課に新たな条例の素案作りを依頼しました。その内容によっては、環境審議会にご承認いただく必要がありますことから、その回数が何回になるのかなども関係してきます。庁内でやり取りしながら出来るだけ早いスピードで提案していけるように今後詰めていきます。

(質問)

- ・スケジュール的に今年度中とか来年度早いうちにという目途がたっていないということですか。

(市長)

- ・実際に提案するスケジュールで決まったものではありません。ただし、目標としては2月定例会で素案、6月定例会で成案を提出していきたいというのは以前お伝えしたとおりです。もっと最速でできる手法があればそういう手法を取っていきたいと思っています。

(質問)

- ・ 就任記者会見でも聞きましたが、今の太陽光発電の条例を新しい内容にすることと、駅高架化事業も見直すとのことですが、実現性として疑問の声も耳にします。改めて公約に掲げたことをどのように実現していくのか考えをお聞かせください。

(市長)

- ・ 太陽光については先ほど言ったとおりです。鉄道高架についてはリスケジュールが必要になる可能性が高いです。これは庁内で議論を始めたばかりなので、少しお待ちください。その他の公約も多々挙げさせていただきました。実際には財政が深く関係してきますので、できないものもあるかとは思いますが、必要なものを実行するために進めていきたいと思っています。そのためには既存事業のスクラップ、新たな事業のビルドの作業が必要になってくると思っています。何個か実現できなかった場合は、市民にお伝えし、謝りたいと思います。

(質問)

- ・ あらためて市政の刷新に向けてどのように取り組まれるのでしょうか。

(市長)

- ・ ひと言では言えませんが、市役所職員のみなさんが笑顔でやる気を持って前に進んでいただけることが一番ありがたいと思っています。そのために仕組みを変えていかなければならないところもあります。始まったばかりですので、みなさんの理解を得ながら職員のみなさんと一緒に進んでいきたいと考えています。

(質問)

- ・ 太陽光発電について、市長選挙の討論会で、市長は大阪の箕面市を例に挙げ、訴訟も辞さないスタンスで臨むと言っていました。そこまでは難しいと現実を見て思い直したのでしょうか。

(市長)

- ・ 訴訟も辞さないという覚悟は変わっていません。実際は網の目を細かくし厳しくする形になると思っています。現段階でも既にガイドラインによる届け出を出しているところもあります。そこを止める手立てが見いだせないのが現実と考えています。しかしこれからの分はしっかりと防いでいきたいと考えていますが、どのようなケースが出てくるのかは未知数と考えていただきたい。そのうえで、真っ向からけんかをするのは得策ではありませんので、話し合いが必要だと考えています。いろいろな手法を使いながら湿原を守っていききたいと考えています。

(質問)

- ・ 市長の仰っているマーケティング戦略室について、具体的にどのようなイメージで企業誘致に取り組むのか、今後の立ち上げのスケジュールをお聞かせください。

(市長)

- ・ 民間的なマーケティング会社を庁内に持っていきたいという思いです。例えば、ふるさと納税や企業誘致、サテライトキャンパス誘致にターゲットを絞って戦略を展開していけるような部署を考えています。民間から人材を派遣してもらうことや庁内の職員をマーケティング会社に派遣するといったことも考えながら進めていきたいと考えています。ただし、組織改編にあたるので少し時間がかかると考えています。庁内で話をしながら現実化できるように進めていきたいです。

(質問)

- ・ 1 回目の定例記者会見ですので、あらためて市民のみなさんや周辺の市町村の地域の方々とのように向き合っていきたいか、意気込みをお願いします。

(市長)

- ・ 釧路市の衰退の現状、物価高や税収の落ち込みがある中で、市役所としても厳しいですが、住んでいる市民も今一番苦しい時に差し掛かっていると思います。そういった声を聞いております。そういった方々に手を差し伸べてあげられるような市役所でありたいというイメージを持っています。また、周辺町村との関係ですが、管内の町村にもあいさつに訪問させていただきました。周りの町村の方が元気なイメージがみなさんにあると思いますが、そのプラスの効果を釧路市にも波及できるように、町村の首長のみなさんと話し合いをしていきたいですし、管内あつての釧路市と私は思っていますので、釧路地域全体が明るくなっていけるように連携を取りながら進めていきたいと考えています。

(質問)

- ・ アイスホッケーについて、プロチームが無くなってしまい市と連盟が動いている状況ですが、あらためて市長のアイスホッケーへの思いと今後の方針を教えてください。

(市長)

- ・ 日本製紙クレインズが無くなり、ひがし北海道クレインズも無くなった中で、子どもたちが目指すべきところが今はない状態とっております。氷都くしろとしての看板スポーツがないという現状は非常に寂しく思っています。今NPO法人も立ち上がりなんとかプロチームをという機運が高まっているところですが、私はまだ関係者の方々と話ができていませんので、これからこういった道筋がいいのか共有していきたいと思っています。

(質問)

- ・ オオハクチョウから鳥インフルエンザが出て、動物園が休園になっていると思いますが、その関係でほかに影響はありますか。

(市民環境部長)

- ・ 動物園はガイドラインに沿って2週間休園し、蔓延を防止しています。市としてはホームページやSNSでむやみに死んだ鳥を触らないように注意喚起をしているところです。